

## 第9回「おおさわふれあい祭り」

～雨天決行！日光市おおさわふれあい祭りで地域交流を～



自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 本郷3海佐）は、11月9日（日）大沢公民館・大沢地区社会福祉協議会が主催する『第9回おおさわふれあい祭り』において、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、広報活動を実施した。

『おおさわふれあい祭り』は、住み慣れた町で安心して暮らし続ける福祉のまちづくりを推進し、地域住民の交流と親睦を深め、文化活動の振興により地域の活性化を図るための取り組みとして開催され、毎年多くの人でにぎわっており、自衛隊の参加は今回が初めてであった。

当日、あいにくの雨天での開催で気温も低く寒さが身にしみる会場であったが、公民館の各講座で制作された力作（陶芸、書道、絵画等）の展示や大沢中学校の吹奏楽演奏、ダンスや太極拳などの子供たちの元気あふれるパフォーマンスを披露するなど、地域住民が一丸となり作り上げている温かい雰囲気であった。

自衛隊ブースでは、制服装着体験や31/2トラック及び野外炊具1号の装備品展示などを行い、来場者は、31/2トラックのタイヤの大きさに驚いたり、炊事車が約200名分の食事を一度に作れることを説明され、「短時間で大量の食事を作れて、すごいですね」、「ミリメシを食べてみたいですね」、「防災関係で大沢地区に自衛隊車両がきてほしい」と思っていたんです」との反響があり、自衛隊に対する理解を深める事ができた。また、今後の進路に自衛隊を選択するか迷っている高校1年生や自衛隊の活動に興味のある20代男性が、制度説明や直近のイベント情報に熱心に耳を傾けていた。

宇都宮募集案内所は、「今後も各関係協力団体と連携しながら、あらゆる機会を積極的に活用し、自衛隊の活動について理解を深めてもらうとともに、地域と一体となった採用広報活動を所員一丸となり推進していく」としている。



自衛隊ブースの様子